



準備を進め居る加藤氏

十中の七八迄は出馬せん

各種団体の応援盛んなるが如し

今日まで政界兩派より多大は期待を以て迎へられ居りし内郷村加藤氏は来るべき縣議選に敢然出馬すべく進行の準備に怠りなく弊中同志は勿論、氏の直接間接に關係ある各種団体は期せずして一致団結して応援するもの、如く居村の如き

磐城無盡蔵

展々其業績

近く映畫宣傳

去る大正十年九月植田町に創設された磐城無盡蔵會は業務の發展につれて昨年十月平町字大可に本店を移轉し縣下一圓中(會津五郡を除き)各地に堅實なる進出を試み一般加盟者より庶民金融機關として非常の便益なるより感謝を受けつゝあ

反對するのは當然

設計變更すべきである

豫算の都合と如何とかを理由として設計の變更をなさしむることは全く良いことではなからず事業の進捗をなせしむるに物語つてゐるから其の全文を掲げて公衆衛生の上

陳情書

平町字南町町新設二間道路に沿ふて設けられある溝渠は常に些少の流量も

可候も前陳の如く該溝渠は常に汚穢極まる泥濘にて出水時に於てのみ之を流下排泄するに過ぎず此の汚穢溜池に注流せしむるに於ては一部落の衛生を考慮したる結果が却てより以上の害悪を招來し該溜池は直に汚穢泥濘の時水と化しなきに蚊蠅の発生に惱まされつゝある同方面の居住民は一層の迷惑を蒙るべく衛生思想普及に汲々たる現況を以て誠に矛盾極まる處置を考慮され候以上次第に付該汚水は直接新川に流下せしむるの方面に出でられ従來同方面の受けたる被害と更に該溜池附近居住民の苦痛とを一掃せられ居る居住民をして此非衛生的害悪より離脱せしめらば度々吾等居住民の苦衷を察下され更に御調査の上速かに該計劃を變更せられ度茲に附近居住民連署を以て及陳情候也

夏のローマンス

炎々たる酷暑を以て海の水が若く輝いてオチヨサンや愛すべき河童連中が黒くなつて行く洋々たる海!海!海! 激測たる唇の筋肉! 水から上げて十日もツツチャラカして居た様に所々はけた顔、それらのツツチャラカした白砂にマゴロの様にぶつたおれて居る舌か愛すべき幹公コト、三馬幹公も其のマゴロの一人である否、マゴロと言ふよりはサバと言ふに相應しい今彼はあらゆる激動を抑へて居る(チト大袈裟だが)まこと、サバの様に砂濱にうつふして其の秋及魚の様な顔を砂に突き込ん

陳情書

彼は生れて幾えきれ無い程戀をした。モテロン! 得戀した経験があるならこんな意氣地の無い事は無いであらう。彼にとつては女性、神祕の國にすみ、魔法の世界にすんで居るとしか思つてゐない。諸君! 果してこんな男性が、イヤシクモテンを持つてゐる男が世界に存在すると思つて居るだらうか。出鱈目を書くな! 諸君は立腹するだらう、ごころが斷じて、嚴としてコンシンザイ! 決してうそはいかない。現に其男が地球にすんで居るのである彼はオチヨサンに愛らしいオチエなるものを掴んだ事がない。

陳情書

眞似はしなかつたらう。兎に角彼は嬉々たる眼が眩んだ、タツタツと砂浜を駆廻り海中にドンブリ! 正に百米トツツと選りも果れたらう。物凄く勢ひで走り込んだので、助け様として駆け出した勇敢なる青年達も彼の剣幕の激しさにへキエキした。彼は實に良く泳いだ。ガブリ! ガブリ! ガブリ! と彼の鼻に海水がトビ込み、これを水中に吐き出した音なのである。彼の血相の物凄さ! 如何なるドウモウなフカ君も嘔吐したことであらう。海の水をはね飛ばし投げ飛ばしぶん殴り、あらゆるヒジユツを使つて泳いだのである。フリーカン公! ガンバル! 幹公!

眼白

平町合議員の五人組が新案を組織したことを變な聲調で宣傳して居るものがあるが、あれはどうかしたか。かき集はかいたもの、何で助役問題では細道と輸入を防止するに努力するもの、輿論を無視して我を通すに於ては其處に破壊を生ずるものである。

眼白

地に感謝し、助けて呉れた人に感謝し鼻に感謝した。彼のカレンなるローマンスはこゝに端を發した、出来た。こゝの食パン見たいに、顔をぶくぶくにふくらし彼と女と歩き廻つた。諸君、海のローマンスはこんなものであるモリノ! と助けに行くと、ガブリ! ギャッ! ギャッ! 戀しお嬢さんと戀をしようとする者は鼻をかまれる事は承知して貰ひたい、こんなことを書くとお嬢さんが百貫目位もある大石をかつぎ出してノンに來かまらぬ。お嬢さんと戀をするならマッ! に命掛けである。では、諸君? 鼻に御注意さらは。

助役問題其他に關し 伏見町長に呈する書

大和田 與平

伏見町長足下
不肖局外の一町民が足下
に一言を呈し以て其の明
瞭に訴へ英斷を請はんと
する所以のものは一に我
等の町を愛し其の現状
を憂ふる赤誠を出すに
外ならず是れ全く「愛町
觀念」の發露として暫く
不得一町民の言ふことを
聽かれんことを。

伏見町長足下
今や我等の町は複雑多
岐なる事業と問題とは山
積しあり、殊に助役問題
の如き之を急速に推薦し
然も人材の拔擢聘致を要
望するものである。茲に
本紙の載せし如く畑邊
君と輸入とは絶対的禁物
なり。

伏見町長足下
なることは與論の一致す
る處にして今更に販々を
待つる要なきべし。
伏見町長足下
遠藤病助役死去に至るま
で六ヶ月を経過し而して
後二ヶ月に近からん
とす、其間殆んど足下一
人の健闘振りを多とする
ものではあるが議員とし
ても將た又町長として
助役人選の急を叫んで止
まず、勿論足下は人物論
に於ては自ずから其の
實現を期せざるに於て免
角の説をなすものである
伏見町長足下
我等は當面の人を傷つく
ことを欲せず、これ足
下も又望むところならん
に非ざるべし。

伏見町長足下
筆は再び助役問題にもど
りて噴噴其の極に達し居
る町政の上に於て、いま
だに理事者の一人が決定
せざるは自治機關の運用
に於ては如何なるものか
を益々淋せしむるもの
として憤慨せざるを得な
い。若し夫れ貴下の推薦
せし人物に於て町會が多
数の承認せざるに於ては
其の人物に欠陥ある事
を知つて再び他面より選
ぶもよし、又全員協議會
を開くもよし、ただ人選
を實質に出發して欺瞞の
衣に自己利益を巧みに使
ふが如きは斷じてこれを
許さず。

伏見町長足下
議員諸君が眞に自治制を
活用せんとするならば政
黨派を超越し紳士的態度
に是々非々主義でなければ
ならぬ筈、從つて助
役承認も此の反映となる
べし、足下が情實と公平
を欠くの形的人選は遂
に忌憚なき彈劾となるべ
し。

伏見町長足下
助役問題は多數議
決の實行に深甚の考慮を
はらい、自己一人の都合
のみを顧念せざらんこ
とを。

助役問題と武田町議 考慮の理由は町に心ある者 酒井君には絶対反対なり

武田 一

記者「貴下町會議員として思ひそれに付いて過般
て平町の助役問題はどうか我々議員仲間では志相違
考へて居られるや。」
武田「一日も早く決定した問題は知速は絶対不可、
對し一般の儀禮としてもあ
町村の指導啓蒙の任
に磨らるゝ一般農作
物は勿論時代に適應
せる方部適作物を奨
勵し以て統一せる生
産品の處理斡旋を爲
さしめ彼の都會地に
於ける公設市場又は
有力なる消費組合
取引を爲すに於ては
必ずや相當の發達を
共ニ收利を擧げ得る
もの之信するもので
あります。」

記者「然らば貴下は理想
の人を有するや。」
武田「僕も一寸さう思つた
事もあるから本月初の特別
戸數割の委員會のあつた日
と記憶する、酒井君に向つ
て心底より「君助役になつ
ては……」と語り會つたに
對し一般の儀禮としてもあ
町村の指導啓蒙の任
に磨らるゝ一般農作
物は勿論時代に適應
せる方部適作物を奨
勵し以て統一せる生
産品の處理斡旋を爲
さしめ彼の都會地に
於ける公設市場又は
有力なる消費組合
取引を爲すに於ては
必ずや相當の發達を
共ニ收利を擧げ得る
もの之信するもので
あります。」

記者「然らば貴下は理想
の人を有するや。」
武田「僕も一寸さう思つた
事もあるから本月初の特別
戸數割の委員會のあつた日
と記憶する、酒井君に向つ
て心底より「君助役になつ
ては……」と語り會つたに
對し一般の儀禮としてもあ
町村の指導啓蒙の任
に磨らるゝ一般農作
物は勿論時代に適應
せる方部適作物を奨
勵し以て統一せる生
産品の處理斡旋を爲
さしめ彼の都會地に
於ける公設市場又は
有力なる消費組合
取引を爲すに於ては
必ずや相當の發達を
共ニ收利を擧げ得る
もの之信するもので
あります。」

記者「然らば貴下は理想
の人を有するや。」
武田「僕も一寸さう思つた
事もあるから本月初の特別
戸數割の委員會のあつた日
と記憶する、酒井君に向つ
て心底より「君助役になつ
ては……」と語り會つたに
對し一般の儀禮としてもあ
町村の指導啓蒙の任
に磨らるゝ一般農作
物は勿論時代に適應
せる方部適作物を奨
勵し以て統一せる生
産品の處理斡旋を爲
さしめ彼の都會地に
於ける公設市場又は
有力なる消費組合
取引を爲すに於ては
必ずや相當の發達を
共ニ收利を擧げ得る
もの之信するもので
あります。」

郡農會廢止論

大和田 與平

先月の中の本紙に於て郡農會
廢止論を提唱せられたり
が其理由として現在郡農會
にて行ひつゝある事業を町
會に移行する事現在郡
會の課税する各町村分担
額は徒らに地方農民の負擔
加重を來たす事(課税地租
一圓に付三十錢内外は三錢
内外の誤謬ならん)等にて
論旨に至る断片なるも早晩
廢止なる運命の來るべきを
豫告せられたのであります
論者は農會關係の一人なる
を以て直に我田引の擁護

ことを信じ極めて抽象的
批判に止むべきも這般人
事行政的手腕を見て老
朽者の引退を迫りて二三
年配者の退職を見たるに
何事ぞ其人物中より再び
雇傭し仕事更に進捗せし
と嗚呼これをして誰か情
實なくして完璧の使用と
言ひ得るや。

伏見町長足下
最も眞摯と手腕と技術と
を要する水道課長は如何
主眼に於てその更迭を希
望して已まざるものは敢
て三十名の議員のみに非
らざるべし。

伏見町長足下
筆は再び助役問題にもど
りて噴噴其の極に達し居
る町政の上に於て、いま
だに理事者の一人が決定
せざるは自治機關の運用
に於ては如何なるものか
を益々淋せしむるもの
として憤慨せざるを得な
い。若し夫れ貴下の推薦
せし人物に於て町會が多
数の承認せざるに於ては
其の人物に欠陥ある事
を知つて再び他面より選
ぶもよし、又全員協議會
を開くもよし、ただ人選
を實質に出發して欺瞞の
衣に自己利益を巧みに使
ふが如きは斷じてこれを
許さず。

伏見町長足下
議員諸君が眞に自治制を
活用せんとするならば政
黨派を超越し紳士的態度
に是々非々主義でなければ
ならぬ筈、從つて助
役承認も此の反映となる
べし、足下が情實と公平
を欠くの形的人選は遂
に忌憚なき彈劾となるべ
し。

伏見町長足下
助役問題は多數議
決の實行に深甚の考慮を
はらい、自己一人の都合
のみを顧念せざらんこ
とを。

成績を擧げ農會に非ずんば
自由を制し得らるゝものに
拘はらず躬自ら何等の施
設經營を計る處なく漫然危
を造成しつゝあるものであり
ます。

必竟するに吾石城郡
地方は農村各自が之
を利用して地方の振
展に資するといふ自
覺的奮奮の乏しきこ
地方的協同性に缺如
たるの結果なりと斷
定せざるを得ざるの
であります。

寧ろ町村農會を廢し
て郡農會を現在の倍
以上に擴張し技術者
を増員して巡迴的各
片なるも可なりとして其經
延ては國家を左右し得る勢
のであります。

記者「其の者の姓名は話
せないとしても其の人物
の片鱗なりとも知らしむ
る譯には行かぬか。」
武田「一言にして語れば手
腕力量に事務的才幹あり働
き盛りの年配で中分はない
が但し町長には氣に入ら
ない然し純理論から此の人物
を推薦すれば町長も男性的
と稱讚して止まらぬ兎に角
我々議員同志の奮闘を見て
わたくれ給へ。」

榮剛老人
皇族議員比佐昌平君
光輝燦爛金紫身
巧令一醉醉人
同志割執爲不識
知得已他不知親
呈縣會議員若松美三君
正義無私尚節操
泣還三十餘年勞
主權爭奪日不足
君子惜爲濁奈職

町村長
助役物
語り(其九)

人の村長に仕へ
二十有六年間村政に
献身的努力しつゝある
名助役 萩野倉太氏

石城郡の山村、永戸箕輪
の組合村に二十有六年間
村治の爲め一心不乱に精
勵して居る萩野倉太氏は
實に名助役としての推賞
に決して躊躇するもので
はない。

明治三十九年書記となつ
て以來働ける功勞は累
進して助役となり此間六
人の村長に仕へ事務に練
達の手腕を有し頭腦明晰
常識に富み、非角なく各
村十二名二十四人の議員
に對しても一般村民に對
しても氣受よく未來の
村長たることを論を待た
ずもあるまい。

大正十一年一月十七日夜
役場火災して書類全部を
鳥有に歸したるも非凡の
手腕を顯して之が調製を
完備し且つ二ヶ年にして
五間に九開半の廳舎は
築され然るもが用材全部
金額四千圓とは村民一
般の寄附なりとは氏
の努力に待つものが多
のである。

永戸三枝、箕輪二枝の教
育費一萬六千圓を初め全
村費二萬八千餘は人口四
千八百、戸數五百八十
より一戸平均十二圓を徴
収納付に依つて村政の運
行をなし居るのであるが
渡月に幕帳面積六百町歩
實測一千餘町歩と合二
等

鳴呼既成宗教家の
末期は來れり(式)
臥龍堂 白忍

基督教 其五
物に強く厚ければ強く反撥
せるは物理の原則とか應
ずれば古今を通し同一概
念を以てして現代の爲政者
亦總てに於て細心の注意
を要すべきことと思ふ徳川
幕府が余りに強く基督教
を抑制したる爲め遂に島原
の騒亂を引き起ししなるべし
を康は、さすが老巧の人な
れば始に緩に漸次に急なる

百町歩の山林は第一期
の植林より今第二期に
入り將來餘り得らるる
時代には村政に一大富
裕を示さざるべからざる
等の如き氏の熱心で以
て奮闘せる結果に外なら
ない。

愈々全員協議會
人選には情實と黨派心を去れ

平町特別税割
二十圓以上五十圓未満
納稅者五百十五名(完)

奸醫不正醫
醫院が病院名の廣告

基督教者の中に
一、基督教信者の中に
黒田孝高、細川忠興、
毛利、伊達等の如き將來
恐るべき國主大名あり其
信仰の動機は那邊にある
やとは問ふところにあら
ざるも一朝彼等が同盟の行
動に出でんには幕府は枕
高ふして眠る能はざる
べし。

今度、改めて諸有司に命
じ基督教制の旨趣を達し
奉施行せしむ向は其教
領主に及び其過酷の刑罰は

Table listing names and numbers under the heading '平町特別税割 二十圓以上五十圓未満 納稅者五百十五名(完)'.

Table listing names and numbers under the heading '基督教者の中に...'.

平町特別税割
二十圓以上五十圓未満
納稅者五百十五名(完)

基督教者の中に
一、基督教信者の中に
黒田孝高、細川忠興、
毛利、伊達等の如き將來
恐るべき國主大名あり其
信仰の動機は那邊にある
やとは問ふところにあら
ざるも一朝彼等が同盟の行
動に出でんには幕府は枕
高ふして眠る能はざる
べし。

三井生命保險株式會社代理店

佐藤永春

福島縣双葉郡浪江町大字權現堂字下柳町十二

電話 七三三番

福島縣石城郡内郷村大字小島字新町十一番地

材木店

佐藤三平

電話 平四三〇番

福島縣西白河郡矢吹町 (電話 四二番)

材木店出張所

宗像與四造

保險申込所

饅の蒸焼よりも美味

尖端の夏の調理に

鹽豚・牛・豚の味噌つけ

家庭の膳部とお土産品として素的によるとい

(百々 各四十錢)

平田三 電話 三三三三番

滋養豊富で

久保田のパンを

平十五丁目廿三夜堂前

久保田パンヤ

小賣店 (三町目四十番地) 電話 三八三番
常磐銀行支店側

石城郡箕輪村高野

高野礦泉入の元湯

(痔 胃腸 神経痛)

高萩 コウ

賃金

綴宮間(乗合) 十錢

宮幣館(貸切) 一圓五十錢

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

平・五 電話九番九九番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科、一般、婦人科 市原陸郎
皮膚科、梅毒、淋疾 市原三三男
平町田町本通り

市原醫院 (入院隨時) 電話一四四番

平町田町 電話五一三番
高久病院
醫學士 高久 羽
新醫學士 赤羽 菊
藥劑師 佐竹 菊
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
雄清忠

平四丁目 (郵便局前通り)
熱田齒科醫院
院長 熱田 留

果然大評判!

特許中山式カイソネーチャ療法の威力!!

●偉大なる科學の力は良く萬病を快癒す

●カイソネーチャ療法は吾が國初めての公開にて即ち機械内部に備ふる海草の含有藥分を蒸熱の作用で發散せしめ之れを全身の皮膚より各患部に浸透せしむる極めて合理的のものであります

●カイソネーチャ療法は 神経痛、リウマチス、關節炎、其の他の諸疼痛を初め中風、喘息、脊髓、痔疾、蓄膿症、胃腸病、婦人病、花柳病、皮膚病、其他凡ゆる病症に卓効があります殊に不感症並に精力増進に特效あり

●カイソネーチャ療法は 効力に就ては東京の本院は勿論當分院に於ても毎日多數の患者に實驗して實に驚へて居ります殊に不治の病と稱する幾多の難病者が不思議にも全治し何れも涙を以て感謝して居ります

●カイソネーチャ療法には 副作用がありませんから絶對安全です凡に角醫師や藥で効なく常に人世の不幸に悩めるお方は一日も早く本療法の神秘的偉効により其苦惱を一掃し回春の喜びを得られんことを願ひます

●機械増設 是迄は機械が一臺の爲め多數患者の方に不便をかけて居りましたが今更に一臺を増設致しましたから永くお待ちする様なことなく何時でも治療が出来ます

特許中山式

カイソネーチャ磐城分院

吉田 五平
平町大町六番地 電話三七一番